

科 目 名	動作分析演習【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	大田尾 浩・古 後 晴 基						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	障害のある動作を分析するために必要な基礎知識を概説する。実際に動作を観察しながら動作分析を行い、その後解説を行う演習にて分析技術を習得させる。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 身体に作用する力として重心を理解する。 2) 姿勢安定における支持基底を理解する。 3) 運動連鎖を理解し説明できる。 4) 正常歩行を理解し、論理的に述べることができる。 5) 異常歩行を評価することができ、理学療法を立案し説明できる。						
学 習 方 法	講義・演習						
テキスト及 び参考書等	ブルンストローム臨床運動学（医歯薬出版） その他の資料は授業の進行に合わせて配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			80		
小テスト等							
宿題・授業外レポート			○		10		
授業態度							
受講者の発表			○	○	10		
授業への参加度							
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	運動力学：身体に作用する力（重量と重心）（大田尾・古後）						
第 2 週	運動力学：てこ（大田尾・古後）						
第 3 週	運動力学：支持基底と安定性（大田尾・古後）						
第 4 週	開放運動連鎖と閉鎖運動連鎖（大田尾・古後）						
第 5 週	姿勢分析：立位（大田尾・古後）						
第 6 週	動作分析：寝返り（大田尾・古後）						
第 7 週	動作分析：起き上がり（大田尾・古後）						
第 8 週	歩行周期（大田尾・古後）						
第 9 週	歩行の機能的役割（古後・大田尾）						
第 10 週	歩行の運動学（古後・大田尾）						
第 11 週	歩行の運動力学（古後・大田尾）						
第 12 週	歩行分析：異常歩行（古後・大田尾）						
第 13 週	歩行分析：異常歩行（古後・大田尾）						
第 14 週	歩行分析：発達の様相（古後・大田尾）						
第 15 週	歩行分析：加齢による変化（古後・大田尾）						
第 16 週	試 験（古後・大田尾）						
備 考	正常動作にも様々なパターンが存在する。したがって、学習に取り組む際はグループ学習にて実施することが望ましい。						